Ⅲ．定量的な開示事項 （2019年３月期、2020年３月期）

自己資本の充実度に関する事項

イ．信用リスクに対する所要自己資本の額

（単位：百万円）

項目	2019年3月期		2020年3月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
【資産（オン・バランス）項目】				
現金	—	—	—	—
我が国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
外国の中央政府及び中央銀行向け	—	—	—	—
国際決済銀行等向け	—	—	—	—
我が国の地方公共団体向け	—	—	—	—
外国の中央政府等以外の公共部門向け	—	—	—	—
国際開発銀行向け	—	—	—	—
地方公共団体金融機構向け	—	—	—	—
我が国の政府関係機関向け	302	12	267	10
地方三公社向け	—	—	—	—
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	992	39	1,125	45
法人等向け	54,551	2,182	55,306	2,212
中小企業等向け及び個人向け	55,111	2,204	57,906	2,316
抵当権付住宅ローン	4,812	192	4,182	167
不動産取得等事業向け	17,400	696	19,818	792
三月以上延滞等	383	15	587	23
取立未済手形	—	—	—	—
信用保証協会等による保証付	695	27	799	31
株式会社地域経済活性化支援機構による保証付	—	—	—	—
出資等	10,126	405	7,930	317
上記以外	5,907	236	4,359	174
証券化（オリジネーターの場合）	—	—	—	—
証券化（オリジネーター以外の場合）	—	—	—	—
複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産	3,046	121	3,230	129
経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	135	5	140	5
他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスクアセットの額に算入されなかったものの額	△901	△36	△300	△12
資産（オン・バランス）計	152,563	6,102	155,353	6,214
【オフ・バランス取引等項目】				
法人等向け	530	21	385	15
中小企業等向け及び個人向け	154	6	184	7
不動産取得等事業向け	0	0	0	0
三月以上延滞等	—	—	—	—
上記以外	—	—	—	—
オフ・バランス取引等計	685	27	569	22
【ＣＶＡリスク相当額及び中央清算機関関係】				
ＣＶＡリスク相当額	—	—	—	—
中央清算機関関係	—	—	—	—
合計	153,249	6,129	155,923	6,236

（注）所要自己資本額＝リスク・アセット×４％

ロ．内部格付手法が適用される株式等エクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額

該当ありません。

ハ．リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーに係る信用リスクに対する所要自己資本の額

2019年3月期

該当ありません。

2020年3月期

該当ありません。

ニ．マーケット・リスクに対する所要自己資本の額及びこのうち使用する方式ごとの額
該当ありません。

ホ．オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

（単位：百万円）

項目	所要自己資本額	
	2019年3月期	2020年3月期
基礎的手法	330	331

ヘ．総所要自己資本額

（単位：百万円）

項目	2019年3月期	2020年3月期
信用リスク（標準的手法）	6,129	6,236
オペレーショナル・リスク（基礎的手法）	330	331
総所要自己資本額	6,460	6,568

信用リスク（リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く。）に関する事項

※期中平均残高は、期末残高から大幅に乖離していないため、記載しておりません。

イ．信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

ロ．信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳

（1）地域別、（2）業種別又は取引相手の別、（3）残存期間別

ハ．三月以上延滞エクスポージャーの期末残高又はデフォルトしたエクスポージャーの期末残高及びこれらの次に掲げる区分ごとの額

（1）地域別、（2）業種別又は取引相手の別

信用リスクに関するエクスポージャー及び三月以上延滞エクスポージャーの期末残高

（単位：百万円）

		信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高							
				貸出金等、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		債券		三月以上延滞エクスポージャーの期末残高	
		2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期
地域別計	国内計	265,812	261,079	181,697	183,896	41,890	41,608	381	478
	国外計	—	—	—	—	—	—	—	—
	地域別計	265,812	261,079	181,697	183,896	41,890	41,608	381	478
業種別計	製造業	8,106	8,504	5,986	6,118	2,112	2,376	6	9
	農業、林業	1,690	2,059	1,665	2,037	—	—	24	21
	漁業	364	287	364	287	—	—	—	—
	鉱業、採石業、砂利採取業	142	69	142	69	—	—	—	—
	建設業	12,940	14,775	12,189	14,074	733	687	17	13
	電気・ガス・熱供給・水道業	13,639	15,600	10,010	11,884	3,629	3,716	—	—
	情報通信業	1,708	1,758	381	494	1,327	1,262	—	0
	運輸業、郵便業	3,751	4,062	2,727	3,274	1,007	788	16	—
	卸売業、小売業	12,221	12,242	11,268	11,195	920	1,009	32	37
	金融業、保険業	18,799	17,688	2,720	2,696	16,079	14,991	—	—
	不動産業、物品賃貸業	53,137	55,180	50,547	51,825	2,542	3,161	47	193
	各種サービス業	29,637	30,833	29,208	30,207	300	496	128	129
	国・地方公共団体	33,728	30,511	20,490	17,393	13,238	13,117	—	—
	個人	34,102	32,411	33,993	32,338	—	—	108	73
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—
	業種別計	223,969	225,984	181,697	183,896	41,890	41,608	381	478
	その他（区分なし）	41,843	35,094	—	—	—	—	—	—
残高合計		265,812	261,079	181,697	183,896	41,890	41,608	381	478
残存期間別計	1年以下	29,173	28,638	25,866	25,841	3,250	2,711	56	85
	1年超3年以下	18,332	28,273	13,101	16,196	5,212	12,004	18	72
	3年超5年以下	36,023	34,060	17,996	17,237	17,887	16,773	140	49
	5年超7年以下	24,377	16,910	15,512	13,664	8,808	3,226	56	19
	7年超10年以下	21,505	23,441	18,241	20,062	3,233	3,368	30	10
	10年超	94,014	94,156	90,437	90,390	3,497	3,524	79	241
	期限の定めのないもの	542	505	541	505	—	—	0	0
	その他（区分なし）	41,843	35,094	—	—	—	—	—	—
	残存期間別計	265,812	261,079	181,697	183,896	41,890	41,608	381	478

（注）1．オフ・バランス取引はデリバティブ取引を除いております。
2．「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払いが約定支払日の翌日から３か月以上延滞しているエクスポージャー、又は引当金勘案前でリスク・ウェイトが150%以上であるエクスポージャー。
3．政府保証債、公社公団債は金融業、保険業に区分。

ニ．一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中増減額

（単位：百万円）

		期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
一般貸倒引当金	2019年3月期	1,636	1,745	—	1,636	1,745
	2020年3月期	1,745	1,783	—	1,745	1,783
個別貸倒引当金	2019年3月期	1,459	1,363	231	1,227	1,363
	2020年3月期	1,363	1,103	525	838	1,103
合計	2019年3月期	3,096	3,108	231	2,864	3,108
	2020年3月期	3,108	2,887	525	2,583	2,887

（注）当期減少額（その他）欄に記載の減少額は、それぞれ次の理由によるものであります。
一般貸倒引当金…洗替による取崩（2019年3月期・2020年3月期）
個別貸倒引当金…　〃　（2019年3月期・2020年3月期）

（一般貸倒引当金の地域別、業種別内訳）

一般貸倒引当金については、地域別・業種別ごとに算定を行っていないため、開示しておりません。

（個別貸倒引当金の地域別、業種別内訳）（単位：百万円）

	期末残高	
	2019年3月期	2020年3月期
国内計	1,363	1,103
国外計	—	—
地域別計	1,363	1,103
製造業	83	31
農業、林業	12	11
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	78	21
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情報通信業	—	—
運輸業、郵便業	33	172
卸売業、小売業	230	338
金融業、保険業	—	—
不動産業、物品賃貸業	102	4
各種サービス業	803	505
国・地方公共団体	—	—
個人	19	18
その他	—	—
業種別計	1,363	1,103

ホ．業種別又は取引相手の別の貸出金償却の額（単位：百万円）

	貸出金償却	
	2019年3月期	2020年3月期
製造業	—	—
農業、林業	—	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	—	—
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—
情報通信業	—	—
運輸業、郵便業	—	—
卸売業、小売業	—	8
金融業、保険業	—	—
不動産業、物品賃貸業	—	—
各種サービス業	—	—
国・地方公共団体	—	—
個人	—	—
その他	—	—
業種別計	—	8

ヘ．標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、リスク・ウェイトの区分ごとの信用リスク削減手法の効果を勘案した後の残高

（単位：百万円）

	信用リスク削減手法勘案後のエクスポージャーの額			
	格付適用		格付不適用	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期
0%	751	550	55,999	49,005
10%	290	192	9,595	10,394
20%	3,593	3,294	1,969	2,833
35%	—	—	13,749	11,949
50%	9,219	10,116	14	9
75%	—	—	73,687	77,453
100%	4,511	5,313	77,325	76,280
120%	—	—	135	125
150%	—	—	212	352
250%	—	—	982	590
350%	—	—	—	—
1,250%	—	—	—	—
その他（区分なし）	—	—	8,516	9,206
合計	18,366	19,467	242,188	238,201

（注）1.「格付適用」とは、リスク・ウェイト算定にあたり、格付を適用しているエクスポージャーであり、「格付不適用」とは、格付を適用していないエクスポージャー。なお、格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。
2.「格付適用」エクスポージャーには、原債務者の格付を適用しているエクスポージャーに加え、保証人の格付を適用しているエクスポージャーや、ソブリン格付に準拠したリスク・ウェイトを適用しているエクスポージャーが含まれます。

信用リスク削減手法に関する事項

イ．標準的手法又は基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオについて、次に掲げる信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャーの額

標準的手法

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期
適格金融資産担保が適用されたエクスポージャー	747	769

ロ．標準的手法又は内部格付手法が適用されるポートフォリオについて、保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャーの額

標準的手法

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期
保証又はクレジット・デリバティブが適用されたエクスポージャー	—	—

派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

イ．与信相当額の算出に用いる方式

該当ありません。

ロ．グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る。）の合計額

該当ありません。

ハ．担保による信用リスク削減手法の効果を勘案する前の与信相当額（派生商品取引にあっては、取引の区分ごとの与信相当額を含む。）

該当ありません。

ニ．ロ.に掲げる合計額及びグロスのアドオンの合計額からハ.に掲げる額を差し引いた額（カレント・エクスポージャー方式を用いる場合に限る。）

該当ありません。

ホ．担保の種類別の額

該当ありません。

ヘ．担保による信用リスク削減手法の効果を勘案した後の与信相当額

該当ありません。

ト．与信相当額算出の対象となるクレジット・デリバティブの想定元本額をクレジット・デリバティブの種類別、かつ、プロテクションの購入又は提供の別に区分した額

該当ありません。

チ．信用リスク削減手法の効果を勘案するために用いているクレジット・デリバティブの想定元本額

該当ありません。

証券化エクスポージャーに関する事項

イ．銀行がオリジネーターである場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項

該当ありません。

ロ．銀行が投資家である場合における信用リスク・アセットの算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項

該当ありません。

ハ．銀行がオリジネーターである場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項

該当ありません。

ニ．銀行が投資家である場合におけるマーケット・リスク相当額の算出対象となる証券化エクスポージャーに関する事項

該当ありません。

マーケット・リスクに関する事項

該当ありません。

出資等又は株式等エクスポージャーに関する事項

イ．貸借対照表計上額、時価及び次に掲げる事項に係る貸借対照表計上額

（1）上場している出資等又は株式等エクスポージャー（以下「上場株式等エクスポージャー」という。）

（2）上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー

（単位：百万円）

	2019年3月期 貸借対照表計上額	2020年3月期 貸借対照表計上額
上場株式等エクスポージャー	11,956	8,573
上場株式等エクスポージャーに該当しない出資等又は株式等エクスポージャー	164	148
合　　計	12,120	8,721

ロ．出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期
売却損益額	△1	△260
償却額	—	311

ハ．貸借対照表で認識され損益計算書で認識されない評価損益の額

（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期
貸借対照表で認識され損益計算書で認識されない評価損益の額	1,706	800

ニ．貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

ホ．株式等エクスポージャーのポートフォリオの区分ごとの額

該当ありません。

リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

2019年3月期

該当ありません。

2020年3月期

該当ありません。

金利リスクに関する事項

IRRBB１：金利リスク

（単位：百万円）

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		⊿EVE		⊿NII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	1,729	2,163	125	
2	下方パラレルシフト	0	0	0	
3	スティープ化	1,956	2,364		
4	フラット化	0	―		
5	短期金利上昇	366	―		
6	短期金利低下	0	―		
7	最大値	1,956	2,364	125	
		ホ		へ	
		当期末		前期末	
8	自己資本の額	13,843		13,134	